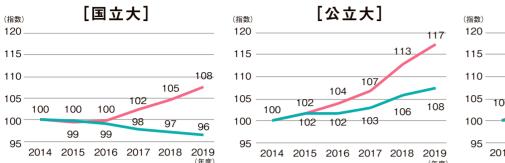
【図表1】年内入試の入学者数は国公私ともに増加傾向 ~設置区分別入試区分別の入学者数推移





AO

一般その他

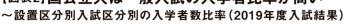
者の獲得が、年内入試における課

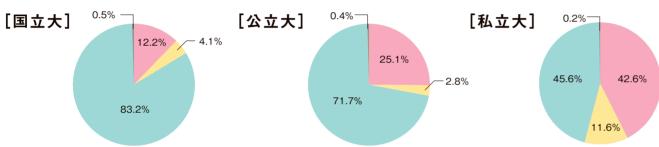
[私立大]

一般入賦

*2014年度入試を100とした指数の推移。年内入試は推薦とAO入試の合計

[図表2]国公立大は一般入試の入学者比率が高い





*図表1、2は文部科学省「国公私立大学入学者選抜実施状況」を基に編集部で作成

[図表3]新入試における年内入試の主な内容

	総合型選抜	学校推薦型選抜
内容	受験生自らが表現する能力・適性、学習意欲、 目的意識等の評価に重点を置く入試	高校が在学中の学習成果を評価したうえで、 大学に対して行う推薦に重点を置く入試
スケジュール	出願は9月以降、合格発表は11月以降 ※2021年度入試の出願は9月15日以降	出願は11月以降、合格発表は12月以降
募集人員	募集人員については制限を設けない	大学は募集単位ごとの入学定員の5割を 超えない範囲で設定
評価	学力の3要素を各入試区分で評価	
調査書	「両面1枚」の制限の撤廃、「評定平均値」の呼称を「学習成績の状況」に改めるなど	
入学前教育	12月以前に入学手続きを取った者に対しては積極的に入学後の学修準備を講ずるように努める	

*文部科学省資料をもとに作成

なぜなら、 です。改めて要点を押さえておき 内入試の主な内容をまとめたも 点が、私立大における課題だと言 学者確保」の手段になりかねな 試で可能な限り合格を出したい」 用が高まることが予想されます。 数が増加する要因となっているのの安全志向が、年内入試で入学者 えるでしょう 合格を決めたい」、 と考えているからです。 **雅薦で受けに来るようになっ 選ぶ受験生が増えています。事実、 人学、双方の安全志向が高まる中、** ら合格者数の絞り込みで競争 【図表3】は新入試における年 内入試が「安易な大学合格」「入 者を早めに確保するため年内で 的安全に合格できる年内入試を しくなった一般入試を避け、 コロナ禍で先の見通し 入学定員管理厳格化に さらに年内入試の利 た高校からも指定校 受験生は「早めに 「これまで受験 大学側も 受験生

選抜から接続へ

これからの年内入試

18歳人口が減少する中、 自学が欲しい学生は待っているだけでは現れない。 「選抜」を工夫するだけでなく、教育を「接続」し、 高校生・高校・大学がWIN-WINの関係となる 年内入試の新たな形を考えていく。



高校と大学が共に高校生を育てる 「教育接続」型の年内入試へ

、学者の拡大が続

2】、多様な資質を持った入学者 比率が高い状況を見直し【図表 を目標にAO・推薦入試などを拡 プラン」の中で、 将来ビジョンに関するアクション 様化を進めていることが、 大すると発表し が2015年9月に えた要因としては、 国立大で年内入試の入学者が増 入れ拡大を図ることが目的 したことが挙げられ 公立大も 一般入試の入学者 入学定員の30% 国立大学協会 「国立大学の 入試の多

今、国公私立大ともに、年1年内入試

ばれる AO・

学校推薦型選



· 村浩二

なかむらこうじ●1990年(株)福武書店(現 ベネッセコーポレーション)に入社。高校事業部 にて高校の教育改革支援に携わった後、(株) 進研アド九州支社勤務を経て現職。

【図表5】探究学習を基にした進路指導と高大連携の可能性

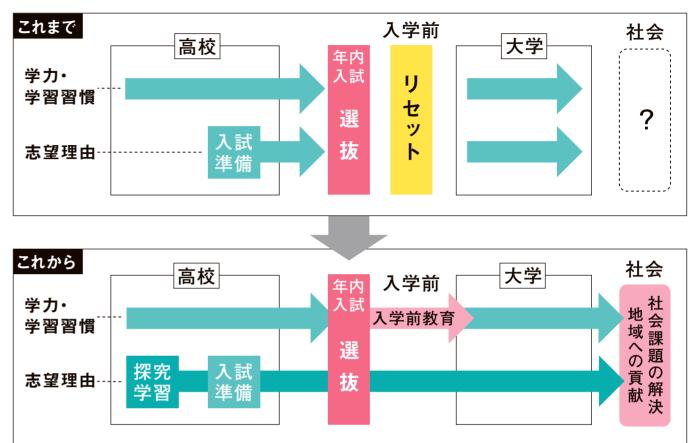
探究学習 入試準備 アウトプッ 志望語化 クエスチョン コンセプト インプッ 進 リサー 路指 ഗ 発表、提案など 探究する 提案内容の 社会課題の理解 フィールドワーク 志望理由書の作成、 問いの設定 検討など 小論文、面接指導 の実施など 高大連携の可能性 評価の 接続の 情報提供の 探究活動の サポート サポート サポート サポート 最新情報の 生徒のリサーチやフィールドワークへの協力。 外部評価者 探究テーマと 提供や、現場 専門的な見地からの生徒への助言、 としての 大学の学問研究を の問題の 調査や検討の過程で 協力など つなぐアドバイスや、 解説など 煮詰まっている生徒へのアドバイスなど 入試情報の提供など

究学習では、情報提供や探究活動 組みを基に、探究学習の流れと、 高大の教育を接続する である点が、 学本位」ではなく、「高校生本 必要とされます。このように で何が学べるかを提案する支援が 軸になるため、 り組んだ高校生のやりたいことが 大学の学問研究を接続するサポー おいては、 要だと考えられます。 評価において大学のサポ 高大連携の可能性を整理していま している岡山県立瀬戸高校の取り 人試を介して 方とは大きく異なり 大学に求められると考えら ここでは、探究学習で取 高校生の話を聞いて自学 探究で深めたテーマと これまでの接続のあ 2年次に取り組む探 一方的な情報提供 入試準備に

が共に高校生を育てる「教育接続 前提とした選抜から、 学薬学部医療栄養学科の取り 学修スタイルの確立を図る城西大 (P·26)を紹介しています。 よく育てて、 18歳人口が減少する中、 1年次の前期までに

試みです。 28 では、 学ぶ学生に育てていき、 理解を深めて、入学後も意欲的に 聖学院大学のアンバサダ 支援および、その成果を活用でき といった自学の特徴的な教育を高 22) では、 ダー)になることを期待してい は自学を代表する存在 ねて自学の教育に対する受験生の る総合型選抜を実施しています。 かしています。桜美林大学 校にも提供し、それを入試にも生 いきます。 などの、学びのタネ、を入試で評 チベーションの3要素をバランス **大学教育に接続することも大切で** 入試のしくみを変えるだけでな 今号では、学力・学習力・モ 入学前教育を通して合格者を 24)、選抜の前から対話を重 大学ではそのタネを育てて 前述の通り探究学習の ブレインスト 地域で活躍する職業会 高崎商科大学 (アンバサ ゆくゆく ーミング

[図表4]これからの年内入試のあり方



【図表5】には、P. 32で紹介

学ぶ目的の醸成につながります。 究していく学習です。そこで取り そのため、高校の探究学習に大学 社会問題をテーマに自分自身と向 る際の軸になるものです。さらに 組んだテーマや、 の問いを設定し、その解決策を探 き合うため、高校と大学を通じた 高校生が自分の将来を考え 活動中に得た経

選抜の工夫だけでなく 教育との接続を図る

資質・能力を入学後の学修につな 理由を入学前にリセット 培ってきた学力や学習習慣、 的に評価できるため、 験生の資質・能力を多面的・ するしくみを整えることが重要で らを大学の教育にしっかりと接続 げて伸ばすことが難しくなりま うようでは、選抜の時に評価した で満足してしまい、それまでに に伸びる可能性を持った「多様な 人学者」の獲得が可能です。 し、受験生が大学に合格したこと 年内入試では、 生を獲得 せっかくポテンシャルの高い したわけです りから、 して、 志望

時間をかけて受

に学ぶようになるでしょう。 は大学でも変わることなく意欲的 める教育を提供できたなら、

志望理由育成の好 局校教育の変化は

勢を伝えることができます 加する形で探究学習の支援を行 ムに、高校生や連携する高校が参 自学が企画する高大接続プロ 例えば、桜美林大学(P.28)では、 高校と共に高校生を育てて ーグラ

の教育内容や人材育成に対する姿

高校生や高校教員に自学

大学が高校の教育に積極的に関

生徒が社会問題に対する自分なり

広まりつつある「探究学習」です。

注目したいのが高校で

探究学習とは、

一言でいうと、

はないでしょうか【図表4】。

学合格の手段」になることはな 供し、探究学習の推進をサポ 員向けのワ インスト 高まれば、年内入試が「安易な大 自学の教育に対する期待や信頼が 自学の教育に取り入れているブ しています。こうした取り組みで 高崎商科大学 (P. 22) では、 ーミングを、 クショップとして提 高校生・教

につながるのです。 学ぶ意欲の高い学生を育てること が関わることは、 大学が高校と共に探究学習を通 なわち大学で

会課題の解決」といった意識を育 して、生徒の「地域への貢献」や「社 合格後も継続してそれらを深

どで芽生えた課題意識や貢献意識

ています

島根大学(P·

<u>20</u>

の総合型選

「へるん入試」

探究学習な

型に入試を転換することが今、

の事例として、

4大学を取り

集では、「接続」を重視した入試

試はどうあるべきか?

今回の特

では、教育を接続するために入